

ロードプラス〈簡易張出式道路拡幅工法〉

NETIS掲載終了
SK-100002-VE

茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 長野 静岡

山間部など道路狭小部における1.5m程度の小規模な道路拡幅を目的とした簡易張出式道路拡幅工法です。

●特長

1.山側および谷側環境への影響低減

張出構造のため、山側地山の掘削が不要で、河川・水路などの谷側への影響を極力低減できます。

2.早期交通開放

プレキャスト製品を使用することで、仮設工事が低減できるほか、工期の短縮が図れます。

3.コスト低減が可能

既存擁壁の天端の一部を撤去してブロックを設置するため、擁壁の再構築が不要となり、コスト低減に繋がります。

4.車両用防護柵に対応

車両用防護柵(B種・C種)に対応しており、支柱取付用Pタイプの設置スパンにより、車両用と歩道用のどちらの防護柵にも対応できます。

5.地域特性に応じた道路拡幅

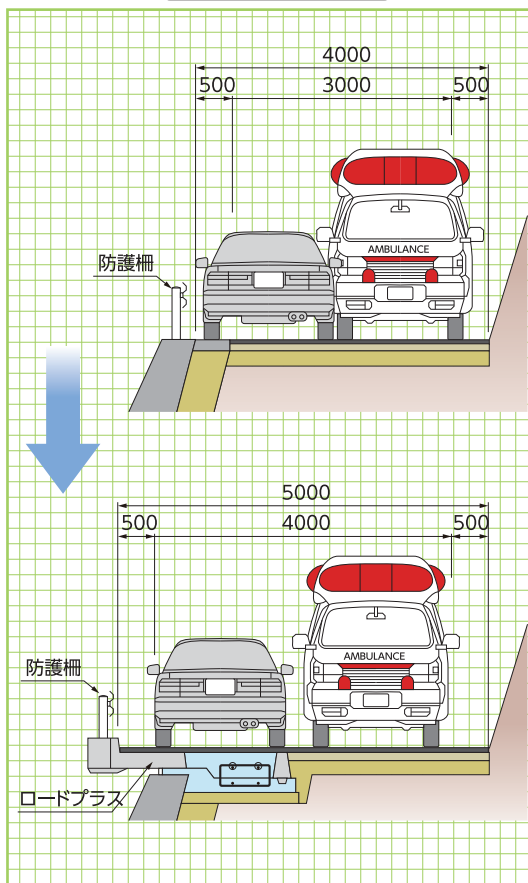
地域特性に応じて、大型車両仕様または中型車両仕様のそれぞれに対応できます。



※張出部の自重及び上載荷重が増加するため、必要に応じてロードプラスの影響荷重を考慮した下部工(既設擁壁及び杭など)の検討を行います。

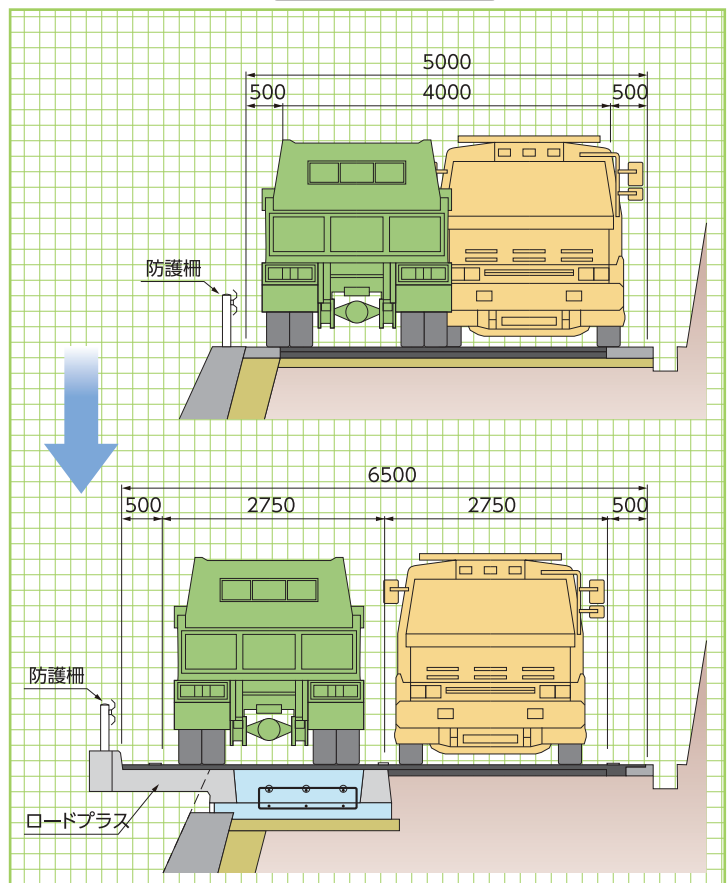
拡幅
イメージ図

ロードプラス1000



4m→5mで緊急車両と小型車のすれ違いが可能

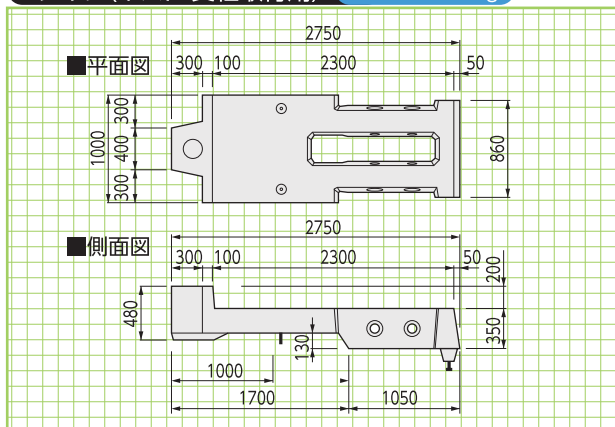
ロードプラス1500



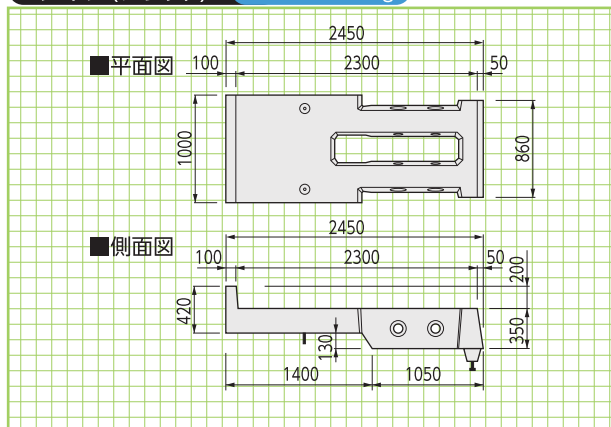
5m→6.5mで2車線化が可能

ロードプラス1000

Pタイプ(ポスト・支柱取付用) 参考重量:1355kg



Fタイプ(フラット) 参考重量:1210kg



基本形状図

形状・寸法
重量表

管渠類

地下雨水貯留施設

擁壁類

側溝類

道路関連

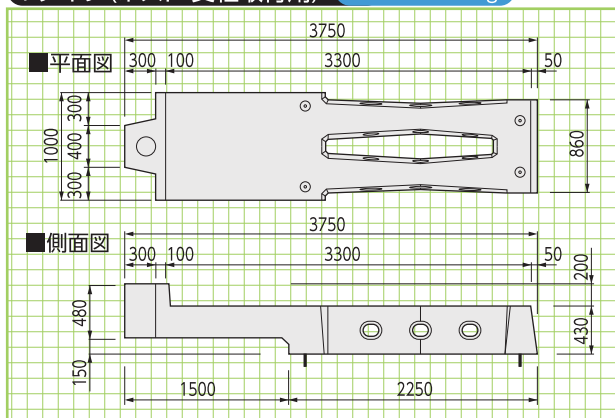
景観関連

その他

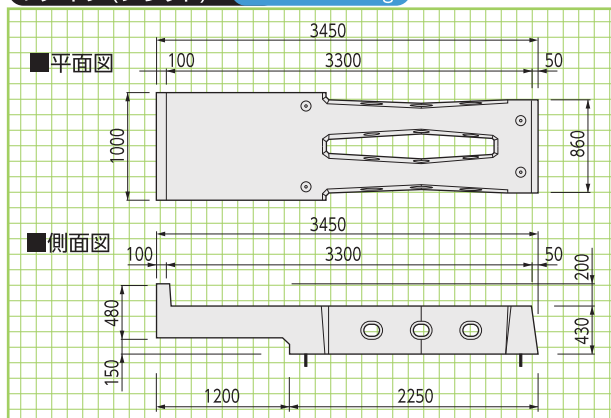
参考資料

ロードプラス1500

Pタイプ(ポスト・支柱取付用) 参考重量:2550kg

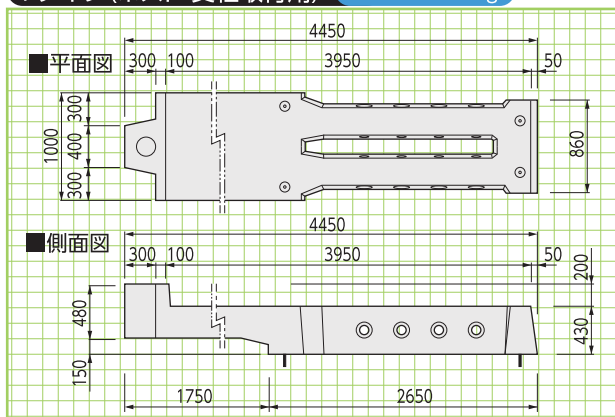


Fタイプ(フラット) 参考重量:2420kg

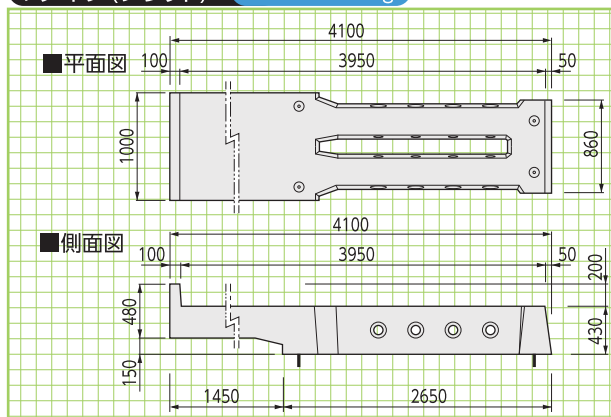


ロードプラス1750

Pタイプ(ポスト・支柱取付用) 参考重量:2900kg



Fタイプ(フラット) 参考重量:2770kg

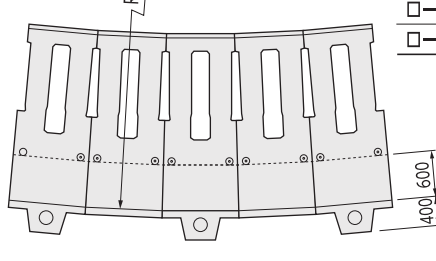
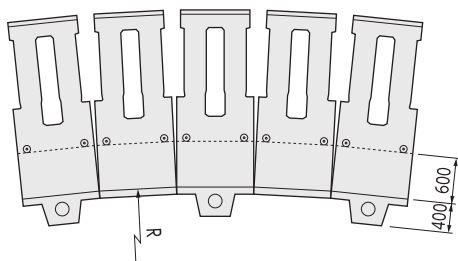


※形状寸法及び仕様は予告なく変更する場合があります。

■カーブ用製品の仕様により、次の範囲のカーブに対応することができます。

内カーブ

外カーブ



呼 称	内カーブ	外カーブ
ロードプラス1000	10.1m以上	16.7m以上
ロードプラス1500	15.1m以上	23.8m以上
ロードプラス1750	14.6m以上	28.5m以上

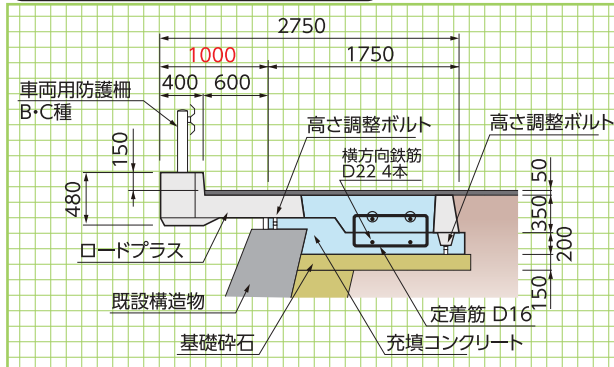
カーブ施工

ロードプラス

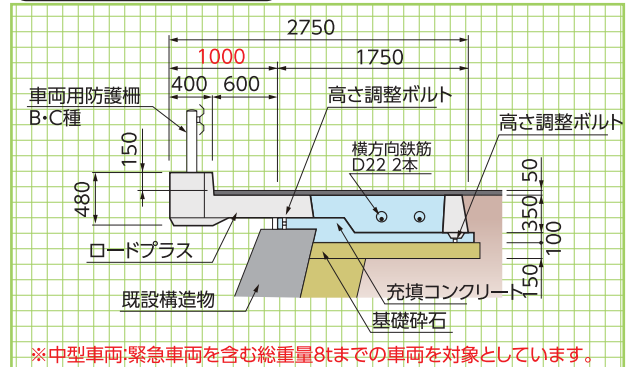
ロードプラス1000

参考断面図

大型車両仕様 (T-25対応)

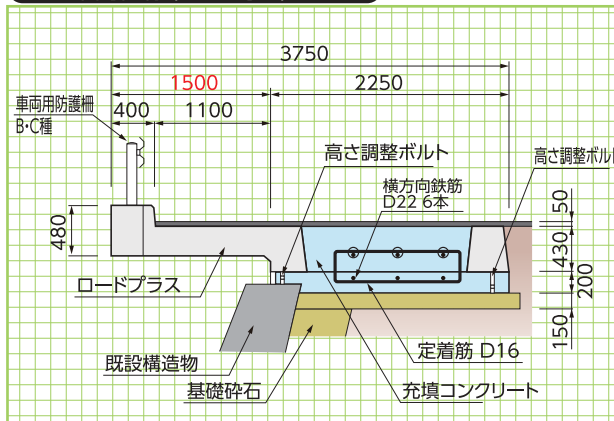


※中型車両仕様



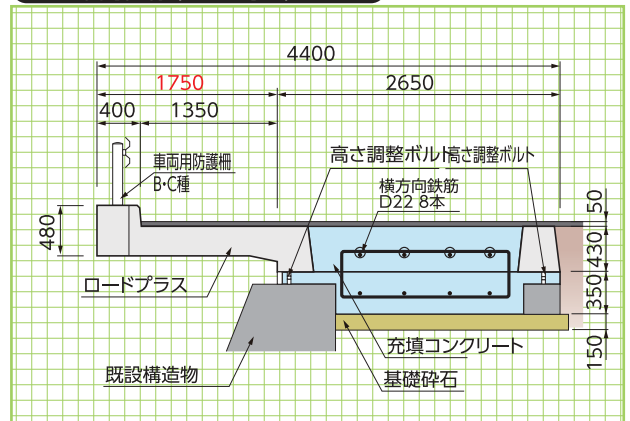
ロードプラス1500

大型車両仕様 (T-25対応)



ロードプラス1750

大型車両仕様 (T-25対応)



注意事項

1. 基本は、1スパン5本 (Pタイプ3本, Fタイプ2本) として御検討下さい。
2. 標準的に使用可能な縦断勾配は上限15%とし、必要に応じてスレ止め対策を御検討下さい。

強度確認
実験

水平載荷実験



結果

荷重項目	荷重	状態
規格荷重 (最大荷重)	54kN	本体異常なし 支柱降伏

垂直載荷実験

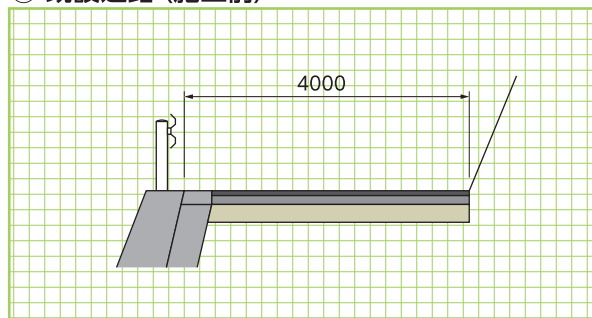


結果

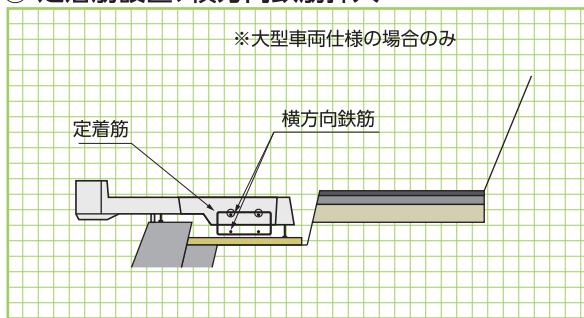
荷重項目	荷重	状態
規格荷重	70kN	異常なし
最大荷重	373kN	ひび割れ確認 破壊

施工手順

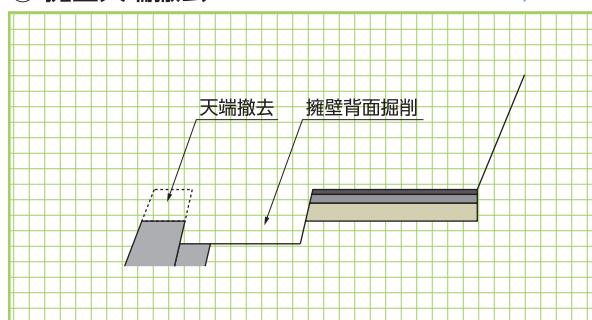
① 既設道路（施工前）



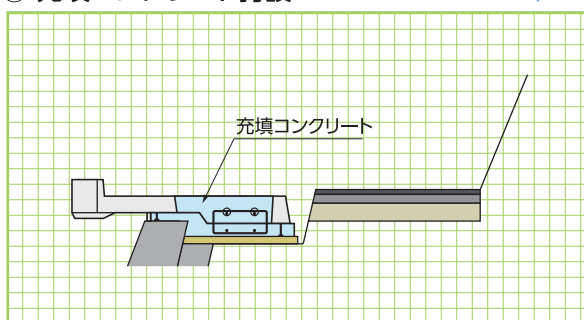
④ 定着筋設置、横方向鉄筋挿入



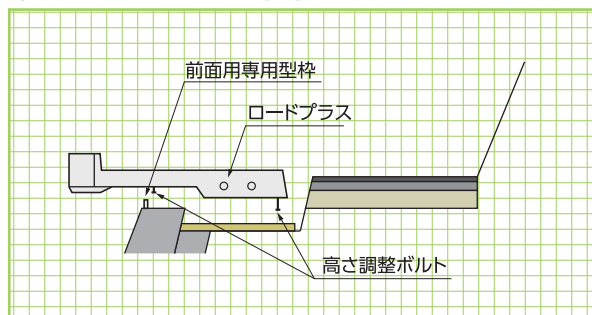
② 擁壁天端撤去



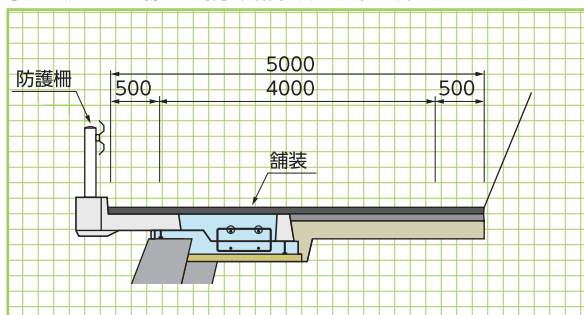
⑤ 充填コンクリート打設



③ 基礎材敷設、前面専用型枠設置



⑥ 埋戻し、舗装、防護柵設置、完成



施工事例

裾野市:施工前



裾野市:施工後



裾野市:施工後



湯島崩野線:施工前



湯島崩野線:施工後



施工手順

管渠類

地下雨水貯留施設

擁壁類

側溝類

道路関連

景観関連

施工事例

その他

参考資料